

タコマ支部闘争支援報告

全港湾が招待された ILWU (国際港湾倉庫労働組合) 国際大会ではコロナ過において一度、滞っていた全港湾と ILWU との「友誼協定」を継続して協定締結しました。2月7日 ILWU よりワシントン州タコマ港において世界最大規模に RORO 自動車運搬船を運行する船社ワレニウス・ウィルヘルムセン・ロジスティクス (WWL) の同港、車両処理センターの労働者 200 名を新たに組織化し、労働協約締結を目指すたたかいにおいて労使紛争となっていると連絡がありました。2月12日に開催された第1回中央港湾団交終了後に出席した全国港湾と港運同盟の仲間の皆様のご協力もいただき労働側交渉委員全員にて「ILWU 闘争を支持する」ボードを掲げた写真を撮影して、闘争支援行動の第1弾として ILWU へ届けました。2月21日は中央本部3名、横浜支部11名、全横浜港湾の仲間4名、ITF - JC 1名、総勢19名にて大黒ふ頭 T2バースに接岸作業する「WWL FIGARO 号」本船船側にて全港湾組合旗と参加した各組合旗と「ILWU 闘争を支持する」ボードを掲げ、「ILWU 闘争支援行動」を実施し、支援行動の前後には船舶代理店社と元請企業店社の両社に ILWU タコマ支部へ送った書簡を手渡し労使紛争の内容の理解を求めました。快く、ご協力いただいた全国港湾、全横浜港湾、ITF - JC に感謝をするとともに、急な動員要請に対応してくれた全港湾関東地方横浜支部へ感謝をいたします。

全港湾中央本部 鈴木誠一



2025年2月13日

ILWU 国際副委員長 ライアン・ホイットマン 殿
Local 23支部 ジャレット・フェイカー 殿

全日本港湾労働組合 (以下、全港湾) は、米國ワシントン州タコマ港のフレニウス・ウィルヘルムセン・ロジスティクス (以下、WWL) で働く ILWU 車両輸送労働者に連帯の意を表します。

ILWU と全港湾は共闘の歴史を共有し、紛争時には互いの支援と連帯に頼って乗り切ってきました。港湾労働者は、私たち全員が共通に持つ国際主義に依存しており、連帯して行動することによってのみ、何世代もの労働者階級の人々が求めてきた正義に向けて取り組むことができます。

我々は、ILWU 第 23 支部と WWL の ILWU 組合員を代表する交渉チームが、ILWU 組合員の利益、雇用保障、安全、資金公正、その他タコマ港設の車両輸送労働者にとって重要な成果を反映した契約の最終締結を目指して努力してきたことを承認しています。WWL の試みと、施設内の ILWU 組合員に対する意図的で標的を絞った懲戒処分や解雇を含む反社会的行動を、組合員に周知徹底させます。私たちは、この争議に勝利するために必要な影響力をあなた方に提供するために、私たちの能力の範囲内で行動することを約束します。私たちは、フレニウス・ウィルヘルムセンが世界的な海事使用者として、これらの権利を尊重し、ILWU が求める公正な条件で交渉を妥結することを期待しています。

ILWU のモットーであり、フレニウス・ウィルヘルムセンがこのモットーを決して忘れないよう、私たちはできる限りこのモットーを守っていきます。

私たちは全港湾労働者の闘いであることを再確認するために、この連帯と行動へのコミットメントのメッセージを伝えてください。



ILWU 国際副委員長 ライアン・ホイットマン 殿
Local 23支部 ジャレット・フェイカー 殿

全日本港湾労働組合 (以下、全港湾) は、米國ワシントン州タコマ港のフレニウス・ウィルヘルムセン・ロジスティクス (以下、WWL) で働く ILWU 車両輸送労働者に連帯の意を表します。

ILWU と全港湾は共闘の歴史を共有し、紛争時には互いの支援と連帯に頼って乗り切ってきました。港湾労働者は、私たち全員が共通に持つ国際主義に依存しており、連帯して行動することによってのみ、何世代もの労働者階級の人々が求めてきた正義に向けて取り組むことができます。

我々は、ILWU 第 23 支部と WWL の ILWU 組合員を代表する交渉チームが、ILWU 組合員の利益、雇用保障、安全、資金公正、その他タコマ港設の車両輸送労働者にとって重要な成果を反映した契約の最終締結を目指して努力してきたことを承認しています。WWL の試みと、施設内の ILWU 組合員に対する意図的で標的を絞った懲戒処分や解雇を含む反社会的行動を、組合員に周知徹底させます。私たちは、この争議に勝利するために必要な影響力をあなた方に提供するために、私たちの能力の範囲内で行動することを約束します。私たちは、フレニウス・ウィルヘルムセンが世界的な海事使用者として、これらの権利を尊重し、ILWU が求める公正な条件で交渉を妥結することを期待しています。

ILWU のモットーであり、フレニウス・ウィルヘルムセンがこのモットーを決して忘れないよう、私たちはできる限りこのモットーを守っていきます。

私たちは全港湾労働者の闘いであることを再確認するために、この連帯と行動へのコミットメントのメッセージを伝えてください。